ハイハイプロジェクト実施報告書

１　実施要項　　期間：平成 28 年 7 月 4 日（月）～平成 28 年 7 月 6 日（水）

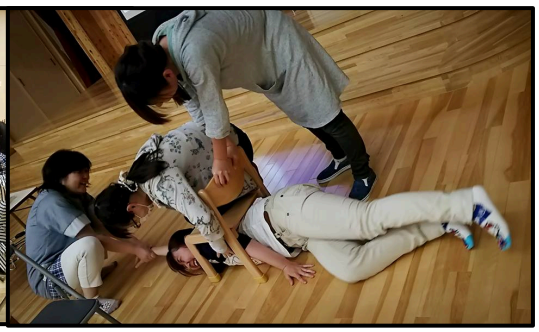
	日	時間	主催	会場	内容	人数
①	7/4 （月）	18:00～ 19:30	北海道 浜頓別町	浜頓別町 保健センター	専門職向け 研修会	保育士 15 名 管理栄養士 1 名／保健師 4 名
②	7/5 （火）	10:00～ 11:30	北海道 浜頓別町	浜頓別町 保健センター	保護者一般 住民向け講座	民生委員 6 名／保健推進員 1 名 保護者一般 19 名／関係者 7 名
③	7/5 （火）	18:30～ 20:00	北海道 幌延町	幌延町 認定こども園	専門職向け 研修会	保育士 25 名／保健師 4 名 ヨガインストラクター1 名 アロマセラピスト 1 名
④	7/6 （水）	10:00～ 11:30	北海道 幌延町	幌延町 認定こども園	保護者向け 講座	保護者 12 名 保健師 2 名／保育士 2 名

２　内　容

①『体づくりの根っこは０歳から～乳幼児期の運動発達を促す支援～』
７／４　浜頓別町　専門職向け研修会
「こどもの体　何か変？」という切り口から講座が始まり、１歳までの身体活動がそれ以降の発育発達、体力の基本になることをわかりやすく事例も含めての９０分の講座。
保育現場でできること、やった方が良いことも提案。
現場で保育士さんが日頃子ども達の生活や動きでおかしいと感じていることと合致していたようで参加した保育士さんたちはうなずきながら聴いていた。

②『ハイハイ講座～からだづくりの根っこは０歳から～』
７／５　浜頓別町　保護者一般住民向け講座
乳幼児期にからだを使って思い切り遊ぶことがどれだけ大切で、それが生き抜く力に繋がること、それが大人になっても影響しているらしい・・・と。こどもに関わる大人が連携してそれぞれの立場で子どもに関わることの重要性を説いた。

③『体づくりの根っこは０歳から～乳幼児期の運動発達を促す支援～』
７／５　幌延町　専門職向け研修会
「こどもの発育発達に飛び級はない」という名言。１歳までの身体活動がそれ以降の発育発達、体力の基本になることを豊富な経験と事例から説いた。体の動きも取り入れて、椅子くぐりをした。くぐる前よりもくぐった後が体の動きが良くなることを体感。幌延町こども園は近隣町村の専門職にも参加を呼びかけていたので、隣町からの参加、前日の浜頓別町で参加できなかった保育士さんとそのご主人も参加していた。



④『ハイハイ講座～からだづくりの根っこは０歳から～』
７／６　幌延町　保護者向け講座
０歳から３歳までのお子さん連れのお母さんが対象だったので、１歳までの身体活動の意味と、１歳以降に遊びの中で再学習する工夫なども伝えていた。
出生２ヶ月の赤ちゃんも来ていたので、抱っこの仕方やうつ伏せの仕方もその赤ちゃんをモデルに伝えられられた。２人目、３人目の妊娠出産を控えている人、予定している人もいると思われる。お母さん達の感心が高く、講座の終了後にも質問相談が相次いだ。

３　感　想

〈幌延町認定こども園職員〉

〇生まれてから立ち上がり歩きだすまでの発育・発達が、身体活動の基本であり、その一つ一つに意味があることを改めて考えさせられました。ハイハイが少なかった子でも、遊びの中で補うことができることを知りました。保育の中でいろいろな動作を取り入れていこうと思います。

〇事前にパンフレット（ハイハイ冊子）を読んだことがあったので、直接話をきけてよかったです。翌日子ども達に、体の使い方をご指導いただけて、保育の参考になりました。

〇「ハイハイすることが大切だ」ということは耳にしていたのですが、どうして重要かということを具体的な事例などを通してわかりやすく説明して頂き、改めて重要性を理解することができました。体の使い方がぎこちない子が増えていることを感じていたところだったので、今回学んだ運動あそびを日々の保育に早速役立て、子ども達の体づくりの基礎を育んでいけたらいいなと思いました。

〇何度かブログを見たことがあって、赤ちゃん人形に見覚えがありました。今年度より初めて 0,1 歳児を担任することになり、日々緊張の保育ですが、今回の講習会は聴いているだけではなく、自ら椅子の下をくぐり抜ける等、体を動かしリラックスして受けることができました。

〇講師の先生がわかりやすく写真も交えて説明してくださったので勉強になりました。写真だけでなく、初めに「自分のクラスの子を想像して下さい」と言ってくださり、最初は説明と、自分が想像した子が合致しなかったのですが、講習を受け終わる時には、「だからこの子は腕の力が弱いのかな」と気づくことができました。サーキットを部屋に組むなど、講習会で学んだことをたくさん取り入れていきたいと思いました。

〇保育士として働く前に子どもを産んだので、今よりも子どもに対する知識も少なく、育児に関してはわからないことだらけでした。自分の子どもはちゃんと成長しているのだろうかと、周りと比べてしまうことも多く、成長は遅いよりは早い方が良い（安心）と、何でも早め早めにと進めていました。しかし、今回の講習会で私の考えは間違いだったことに気づかされ、改めて「成長」について考えさせられました。きっと私と同じように悩んだり、焦っているお母さんお父さんはたくさんいると思います。お腹の中に子どもがいる時にこの講習会を受けていたら、産んでからもう少し余裕をもって育児ができただろうとなと思いました。

〇　「子どもの発達に飛び級はない」は、まさに名言ですね。お母さん達も頭では理解できていますが、なかなか周りと比べたり気になったりして、焦っている様子がみられます。この講習会を受けられたお母さんは、とても安心したのではないかと思います。もちろん、専門家の私たちも改めて勉強になりました。

〈浜頓別町保健師、保育士〉
〇保健師としては、ハイハイがなぜ必要なのかということの裏付けがしっかりとわかり、母親たちに伝えられる自信につながりました。

〇一般の母親だけでなく、祖父母世代にも聞いてもらうことができ、「ハイハイさせるようにしています」　「サークル取りました」などの声が乳児相談や健診の場面で聞かれたのが、とてもうれしかった。

〇母親たちだけでなく、地域の方にも聞いてもらえたことで、地域の子どもたちの発育・発達につながる環境が増えるんだと感じた。

〇ハイハイ冊子を読んだ6年生の息子がはいはいの大切さを語っていました。

〇保健師が、個々の母親にハイハイ等の必要性を伝えるだけでなく、樋口先生に事例を通して伝えていただく機会があって、本当によかったと思います。

４　所　感

〈所感：樋口〉
　北海道最北端の宗谷地方でハイハイプロジェクトとして、浜頓別町、幌延町それぞれで、専門職（保育士、保健師等）向けの講座と一般の住民向けの講座をすることができた。
　全国どこへ行っても子どもたちの現状には共通するものがあった。
　便利さと引き換えに「子ども自ら体験して学ぶこと」が減ってきている。そのため自分の体を危険から守る「危険回避能力」さえ落ちてきている。
　将来何にでも挑戦できる体と心や社会を生き抜く力の土台をつくるために、乳幼児期の大人のかかわり方が大切になることを大人の私たちが共通認識して、それぞれの立場で子どもに関わることが重要である。
専門職の方には
・専門職だからこそできることがある。専門職としての誇りを持って子ども達が元気に育つために日々のお仕事をして欲しいと思う。
・行政の立場で、保育の立場で、必要な取り組みをすることや情報を発信してもらうことで、その地域の子ども達すべてに良い影響があることを認識してほしい。
保護者、住民には
・子どもの体と心の土台づくりは、特に乳幼児期に自ら体験することが重要であること。
・子どもはこれからの日本を支える大切な財産である。家庭、保育園、学校、地域、行政など、みんなで共通認識し連携して育てていく必要があること。

　保育士さん方の意識の高さにも驚いた。
　保育士研修を行い、翌日保育園に行くと早速朝の遊びに取り入れていました。私の話を

聞き、映像を見ながら即何ができるかを考えていたようです。このパワーと行動力に驚きました。

講演を聞いて、理屈では分かってもなかなか行動に移すまでに時間がかかるケースがあると感じている中で、実に素晴らしい！

この行動力で、子ども達も変わる。

現場で何か変？と感じていることに対して、まず何ができるか、できることからやってみる、その対応の柔軟性が未来をつくると確信している。今回も、専門職の影響力の大きさを強く感じた。

雄大な北海道の環境で生まれ育ち、その日常の環境を乳幼児期に五感で感じて欲しいと思う。それが郷土愛につながるのではないかと個人的に思っている。

今回ご縁を作ってくれた稚内でご活躍の門間さん、浜頓別町、幌延町の皆様に心から感謝申し上げます。

※専門職の研修の翌日、早速朝のからだ遊びに講座の内容を取り入れていました。

〈所感：門間〉

この度、健康づくり推進機構 BTB の「ハイハイプロジェクト」の一環で、念願であった樋口先生のハイハイ講座を北海道初、宗谷管内の浜頓別町・幌延町で主催いただき開催することができました。

樋口先生の豊富な知識と経験から溢れ出すお話は聴いている誰もが夢中になり、特に専門職のみなさんは日頃感じていることや親御さんに伝えていることの裏付けされた知識やエピソード、事例を聴いて腑に落ちていたようでした。その後、受講下さった専門職の方にお会いした時にも

- 発育発達、ハイハイの大切さについて自信を持ってお母さん達に伝えられるようになった。
- 早速保育で朝の遊びを取り入れています。
- からだを使った遊びを多く取り入れています。

などの声が聴かれました。

10 年前から宗谷地域で親子、子どものからだ遊びとその重要性を伝え続けていましたが、実技が中心だったので、この度、樋口先生にじっくりお話しいただいたことで、乳幼児期の身体活動やからだを使った遊びの必要性や意味がみなさんに伝わったと思います。

知ることで子どもの発育発達に何が良いのか、どのように工夫し関わったら良いのか、受講した皆さんは気付きが多かった様です。私も改めて赤ちゃんの発育発達の意味を深く知ることができて、今後の指導が今まで以上に意味あるものになると自信になりました。

また、今回痛感したのが「連携」すること。地域のこどもを地域の大人みんなで、それぞれの立場で関わる上でハイハイ講座を地域の人みんなに聴いてもらいたいと思いました。そして、この講座を現場で活かしていただき連携していくために街や保育園、子育て支援センターなどへの働きかけも重要であること。専門職の方々と連携の上で子どもの発育発達の状態に合わせてお母さんお父さんに適切なアドバイスやサポートをしていくために、もっと学びを深め子どもと触れ合う機会を増やしていこうと思いました。

最後になりましたが、この度、ハイハイ講座を宗谷で開催の提案に快くご賛同いただき主催下さった浜頓別町、幌延町の皆様に心から感謝します。
連日、熱く想いを込めて講座をしてくださった樋口先生本当にありがとうございました。

今後も北海道の子ども達が元気に育ち、大人もイキイキ健康で子どもと関わり、北海道から日本の元気の創造に貢献できるよう勤めていく所存です。

以上

報告者　北海道稚内市　門間 奈月
（特定非営利活動法人　健康づくり推進機構 BTB 理事）